

JS だより

[連載-1]

孟母三遷？して三業地へ

副理事長 石川忠男

今回から日本下水道事業団の連載がスタートします。下水道新技術推進機構の連載も毎号楽しく読ませていただきましたがそれに負けない内容にしたいと思いますのでよろしくお願ひします。役職員が入れ替わり立ち代り登場し、硬軟織り交ぜてその時々の特ピック、仕事、趣味など話題を提供したいと思ひますのでご期待ください。

さて今回は「孟母三遷？して三業地へ」という題です。2月26日事業団本社が移転したというトピックです。

孟母三遷

昭和47年日本下水道事業センターとして設立されたときの本社は御成門でした。昭和52年虎ノ門に移転し、さらに平成6年12月赤坂に移転しました。今回の四谷への移転で引越しが3回ということになり「孟母三遷」に引っ掛けたわけです。しかし仔細に考えますと無理があったようです。

孟母三遷とは「最初墓地の近くに住んでいたところ孟子が葬式ごっこ（一説には墓堀ごっこ）をするので、教育上よくないと考えた孟子の母は引越しをした。次の住まいは市場の近くだったので商人のまねをして商売ごっこをして遊んだ。そこで再び引越しをしたところが学校の近くで今度は学生のまねをして学問をするようになった」という故事から教育には環境が大事であるという意味です。三遷とは住居を3箇所に変えたということで引越しの回数では2回でした。ということでJSの場合は四遷ということになり題の意図は見事に外れてしまいました。

それはともかく今回の移転について報告しましょう。2月24日（土）25日（日）で引越しをし、26日（月）には荷解きをし執務がスタートしました。所在地は新宿区四谷3丁目3番地1号。新宿通りの四谷3丁目交差点から四谷に向かって左側約100mの富士・国保連ビルの4階から6階に入っています。新宿通りは東京女子マラソンの最後の数キロの区間ですからオフィスから見物できるかもしれません。

オフィスの中を紹介しますと4階が経営企画部と監査室と会議室、5階が事業統括部と品質管理センターと情報システム室、6階が役員室と秘書室と大会議室となっています。各室とも窓に面しているため前のオフィスに比べ明るく、見通しもよい空間になっています。

パソコンも新機種に更新し、役職員新たな気持ちで仕事に取り組んでいます。



次に付近の街の状況を紹介しましょう。江戸時代の江戸絵図を見ますと新宿通りは甲州街道としてほぼ現在と同じほどの骨格で通っており、街道に面しては町人地、その裏側は御持組、御先手組などの下級武士の敷地が広がり、また松平撰津の守の大きな大名屋敷があります。その場所が現在の荒木町、舟町辺りで事業団の裏手になります。

移転前に環境新聞社の波田社長と移転の話題になった折、社長から「わが社の近くです、あの辺りは荒木町三業地だったところで、飲食店も多くありいいところですよ」とご教示いただきました。

三業地

三業地とは明治時代以降芸者置屋、待合、料亭の三業の営業が許可された区域でいわば昔の夜の繁華街とも言うべきものでしょう。なにやら期待が持てそうな場所です。でも風俗ではありませんので期待を持ちすぎてもいけません。撰津の守にちなんだ津の守通り、新宿通り、杉大門通り、外苑東通りに囲まれたあたりが概ね荒木町三業地のあとです。その真ん中を通るのが車力門通りです。大名屋敷のあとが区画整理もされず街になったようで道も狭く曲がりくねり、思わぬところに路地あり私道ありで迷路のようです。

30年来この近くに住んでいるという光硬化工法協会の大岡会長からいただいたお勧めのおいしい店のリストと地図を頼りに探索を続けています。

まずわれわれで一番大事なのうまくて安い昼食を取れる店を探すことです。いただいたリストと地図はコピーし役職員に配られ活用されています。昼食時は荒木町の路地から路地へと探索をする職員のグループにあちこちで遭遇します。

ここ一ヶ月で20店程を訪れ味、価格、雰囲気などそれなりの評価をしているところです。

夜の部はこれまで大勢でやる機会が2度ありましたが、白木屋といった大規模居酒屋でしたのでそう特色はありません。今後は荒木町らしい穴場の店の探訪を試みる予定です。

移転して約一ヶ月、最初の訪問者は26日午前荷ほどき中に関東・北陸総合事務所の会議のついでに立ち寄ったJS 栃木事務所の所長でした。外部の方では新宿通りの向かいに本社のある環境新聞社の茂木さんと阿部さんが引っ越し祝いに来てくれました。

その後は国土交通省下水道部の方、下水道新技術機構、関係社団法人の方、地方公共団体の方、民間企業の方などが訪問してくれました。

東京駅からなら地下鉄丸の内線の四谷三丁目で降りて4番出口の階段を37段上り新宿通りを四谷方面に歩いて2分の「みずほ銀行」の上です。ぜひ新しい事業団の本社をのぞいて下さい。

新しいオフィスで役職員一同新しい気持ちで新年度を迎え、皆様のご期待に応えるつもりです。

四遷した先が三業地、この環境でJSがどう変わっていくか？孟母三遷ならぬJS四遷のこれからにご期待ください。

